



DAMANHUR

ダマヌール日本ニュースレター

ぽぽろ



《 第42 秋号 》

発行 ダマヌール日本
発行日 2017年10月25日
<http://www.damanhur.jp>

POPOLO

秋号

樹の意識の活性化プロジェクト



～ 植物と人間の調和的關係と共同を取り戻す～

みなさんは、「アバター」という映画をご覧になりましたか？「アバター」には命の樹のエイワが登場します。ナヴィ族は、エイワを尊厳ある偉大な存在として崇め、交流し、祈り、自然の循環の中で他の種と共に調和的に生きていました。

ナヴィ族はこの星のエネルギーのネットワークの一員であり、他の命を支配するという驕った考えは持っていません。また、植物たちは電気信号を出して交信しあい、それらがネットワークを形成して惑星パンドラの全体を覆っていました。それらはファンタジーの世界だけのことでしょくか？

動かないことで進化をしてきた植物

一般的に、植物は動物と異なって動くことをせず、寡黙な存在として生きてるように見えます。なぜそう見えるのか、それは私たちが動物を判断基準にしているからではないでしょうか。

私たち人間は、手足があり、体の中には脳や心臓や肺など色々な臓器があります。そして、言葉を発し、五感を持ち、移動し、コミュニケーションをとる社会的な動物といえます。それを樹に当てはめたら、手足がなく歩けない、臓器もなく言葉も五感もコミュニケーションも持たない種、動物より下だという結論になってしまいます。私たちは常に動物の視点で植物を見ているのです。

植物たちは、動かないことで進化をしてきました。植物は食べ物を探して動くことはせず、太陽から光エネルギーを取り込み、二酸化炭素と水から葉緑体でエネルギーの源となるブドウ糖を自ら作ります。根からは地中の養分を取り込んでアミノ酸を作り、アミノ酸を組み合わせるタンパク質や脂質やビタミンも作り出しています。傷の修復、繁殖なども含め、生きるために必要なものすべてを自ら作り出すことができます。植物が「独立栄養生物」といわれるのはこの

ためです。一方、私たち人間を含めた動物は、栄養をとるために他の動植物を食べる必要があります、他の生物に依存していることから「従属栄養生物」と定義されています。私たちが食べる物は、植物か、植物を栄養として成長した動物だと考えると、植物が自然界の生産者と呼ばれる理由もよく分かります。

また、太古から人間は心身の不調和を癒す薬として植物を利用してきました。シャーマンは直感的に植物からメッセージを受けて、薬草を使っていたと考えられます。薬草やハーブの中には、抗酸化作用、抗菌抗ウイルス作用、薬用作用等の多様な成分を含むものがあります。例えば、植物が持つ抗酸化作用は、紫外線を大量に浴びるために生体防御反応として自ら作り出した植物化学成分で、酸化を抑制する働きは人間の生活習慣病の予防にも役立ちます。

森林浴で有名なフィトンチッドは揮発性の抗菌物質で、人間をリラックスさせる効果があります。さらに、昆虫に食害されたり病原菌に感染したときだけに生合成される物質や昆虫を忌避させる物質も作り出せます。動かない植物が生体防御作用として自ら作り出した数々の植物化学成分は、私たちの薬として使われています。

私たちはまさに植物の恩恵の中で生きているのです。

植物の体はモジュール構造

イタリアの植物学者ステファノ・マンクーゾ氏は、『植物は知性を持っている』という本の中で植物が臓器を持たない理由を次のように書いています。

植物の体はモジュール構造（注）になっていて、どのパーツも重要ではあるものの、どれも絶対に必要不可欠というわけではない。こうした身体構造は、動物と比べてとても優れている。…略…植物は簡単に捕食されてしまうことを考えて、いくつかの中心部分に全機能を集中させないようにした。…略…植物の各機能には専用の器官があるわけではない。植物は肺がなくても呼吸でき、口や胃がなくても栄養を摂取でき、骨格がなくても直立している。…略…こうした独特の生理のおかげで、植物は体の大部分が切り離されたとしても死んでしまうことはない。

注) モジュールとは、それ自身が多くの部品を含んでいる、ひとかたまりの部品群。

このモジュール構造で、動かない植物は動物たちから捕食されても生き延びて、地球上に広がり、自ら自然界の生産者となってすべての命を支えています。

また、植物の脳にあたる機能は根の先端にあります。根には人の脳のニューロンに類似した伝達機能があり、根でネットワークを作り、植物化学成分を通じて他の植物とコミュニケーションをとっています。一般に知られているように、根の先端の活動は活発に行なわれ、水が欲しければ湿りを感じて根を伸ばし、養分が欲しければ地中を探検して、障害物や有

害な化学物質は避けて根を伸ばしています。前述の『植物は知性を持っている』ではさらにこのような記載があります。

各根端は数多くの変数を絶えず計測している。例えば、重力、温度、湿度、磁場、光、圧力、化学物質、有毒物質（重金属など）、音の振動、酸素や二酸化炭素の有無など。…略…根端はこうした変数を絶えず記録し、植物の各部の要求と個体全体の要求を考慮に入れて計算を行ない、その結果に応じて根を伸ばしていく。

まさに、根はデータ処理をする植物の脳といえるでしょう。

樹とコンタクトする

ダマヌールの長年にわたる実験で実証されたことの一つは、植物には学習能力があり、人間と意思疎通ができることです。

植物を上手に育てる人のことを「緑の指を持つ人」というのも、植物はその人の持っている感情を読み、思いやりを持っている人のことを喜び、愛情という滋養を受け入れて植物自らがより成長したり、枯れかけた植物が回復したりするのです。樹に愛情を込めて声をかけ続け育てた結果、無肥料無農薬のリングが実ったことは記憶に新しいと思います。

植物とテレパシーで話す技能は人間が元々持っていたもので、何万年も前の精神性が高かった時代では普通に使われていたそうです。そして、その時代は、樹と人間が兄弟のようにしてお互いの精神的進化のために協力していたと伝えられています。そして、かつての植物と人間との調和的な関係を取り戻すことが、私たち人間の精神的進化を押し進めるといえます。

でも、このように言うなら「樹と人間の交流は人間にとって数々の恩恵があるけれど、樹は何を得るの？人間のやっていることといたら、森林を破壊し、多くの種を絶滅に追いやっているだけ、樹には人間は必要ないと思うのです」と質問された方がいました。

例えば、植物が好きな人なら何気なく自宅のプランターや植木鉢を見て、ふと、土が乾いていることに気づき、水をやったり枯れた葉をとったりと世話をしたことはありませんか？台風などで枝が折れたとき、葉の食害に気づいたとき、あなたは樹が再生しやすいように、折れた枝を取り除いて手当をし、食害を防ぐために毛虫退治をしたりしませんか。

これらは人間自らの行動のようにもみえますし、植物が発するテレパシーを無意識に受け取り行動した結果なのかもしれません。



また、植物は人間が樹の実を取って食べても、葉を食べても怒りません。それは美味しく食べてもらうことで、人間に種を植えてもらえ繁栄できることを知っているからではないでしょうか。私たちとは異なって長期の考え方ができるのだと思います。

樹の寿命は5000年とも6000年ともいわれ、人間が80才とすると命のサイクルが全く異なります。長寿の樹々にとっては、樹齢30年、40年の樹々は幼児という状態です。また、樹のリズムはゆったりとして、人間が感じている時間の感覚と異なり、私たちの1年は木にとって1日くらいの感覚です。森林浴でリラックスできるのはフィトンチッドのためばかりではなく、樹々の時間のゆったりとしたリズムにも影響されているのです。樹は知性や感情や感覚もあり、バランスのある穏やかな考えを持ち、人間と同じように精神的進化のために物質と精神の架け橋になる存在です。また、個でありながら種全体と繋がり、樹々全体の集合意識を持っています。

ゆっくりとしたリズムで生き、長期の視野に立った捉え方をする樹のアドバイスは、私たちが思ってもいない解決策をもたらしたりします。また、植物とのコンタクトを取り戻すことで、人間の眠ったままの感覚を目覚めさせることができます。植物とその知恵は、私たち人間の思い込みや価値観をより良く変えて、精神的進化へと導く力を持っているといえるでしょう。

世界規模での 樹の意識の活性化の取り組み

ダマヌールでは薪を取るだけだった荒れ果てた森を徐々に買い広げ、手を入れて、多種多様の命が宿る健全な森へと再生してきました。今では、多種の動植物が棲み、自然の精霊たちも宿って命の複雑さが調和的に表現されています。ダマヌール市民はより成長が求められる大切な時期にグループで森に入り、サバイバル体験などをしてきました。森での体験を通じて日常で固定化された考え方や習慣に気づいたり、個人やグループの課題に取り組んで自分自身を変容させてきたのです。

また、螺旋を始めとして数々の研究や実験も行なわれました。この森に人間の歴史も刻んできたのです。今ではこの森は「植物の神殿」として位置づけられています。

そして、30年前からテリトリーの中で樹の活性化を行ってきた実績を踏まえ、樹の意識の活性化プロジェクトをスタートさせています。人間が森林を破壊し、多様な種を絶滅に追いやっている反省を含め、人間と植物の調和的な関係と共同を受け入れる樹々を増やしています。そして、「植物の神殿」がその集合意識の中心部分となっています。

日本とカリフォルニアでは、2011年から樹の意識の活性化プロジェクトを行なっています。現在までに、ダマヌールの市民やポポロの仲間により、世界中で161,976,653本の樹が活性化されました。



オランダでの活性化の様子

活性化した樹の多い国は、オーストリア、日本、クロアチア、オランダ、イタリア、アメリカ、スイス、ドイツ、ノルウェーと続きます。南極を除いて5大陸の国々で行なわれており、まさに世界を巡る樹の意識の活性化プロジェクトです。日本は世界で2番目に活性化された樹が多い国で18,364,231本となっています。活性化をした場所は北海道から本州、四国、九州、屋久島に至ります。

私たちは樹とのコンタクトや活性化時には、樹のエネルギーに触れて交流を楽しんでいます。山梨県を訪ねたときは、車窓から見える樹々、アルプス、富士山、葡萄畑を見ながら「なんと多くの樹々が日本にはいるのだろう、人間よりも多い。この一本一本が樹の意識の活性化を受けて人間と調和ある関係を結べたら、未来はどんなに希望があるだろう」と思いました。

北海道ではコロボックルと出会い、宮沢賢治の世界を体験しました。精霊たちは存在すると信じている人の前にしか姿を現さないと聞くと、子ども時代の多読が役にたったと思いました。

四国ではかつての戦場地の樹々を仲間と活性化していたら「急に軽く明るくなった」と友人が喜んでいましたし、世界遺産の屋久杉と縄文杉を活性化した12時間の旅は、アバターの森に入り込んだようで珍しい樹々と遭遇して感激の連続でした。また、活性化予定の公園を訪れると、「歓迎!」と枝を揺さぶって雨上がりの水滴をプレゼントしてくれたり、活性化を待っている樹々も多いです。

また、樹は悩んでいると答えをくれることがあります。樹はオーラを読んで私たちのことを何でも知っているのです。樹は友人であり、人生の先輩であり賢者です。樹は私たちへ彼らの言葉を発しているのに、気付かないのは私たち人間なのでしょう。

私たちは、人間と共同することを受け入れた樹々の集合意識のネットワークが世界中に広がり、植物と人間との共同と交流によって、この地球に大きな可能性のある未来がくることを願ってやみません。

あなたも樹の意識の活性化をやってみませんか？ やってみたいと思ったら、どうぞ声をかけてください。

樹の意識の活性化体験記

日本の樹の意識の活性化プロジェクト。私たちは、同じ命の存在として生きる樹々への友情や尊厳を感じながら活性化を進めてきました。ここでは、活性化時のさまざまな体験をご紹介します。

樹の活性化の思い出

2012年から2013年に8回参加しました。活性化をすると樹々が喜んでるのがわかって嬉しかったです。活性化した樹がある一定の数になると、突然、空気が変わって清々くなりました。また、公園の通行人の会話や知人から、活性化を計画しただけの場所や終わった場所が整備されてきれいになったという話を聞いたり、活性化済みの公園がテレビで放映されたこともありました。

集中してやっていたら目が回り気分が悪くなって休憩したことがあります。1回周りにはなかなか至らず、挑戦して一度だけ1回周りになったのですが、終わってから毛虫にさされたことに気づきました。

3人で大きな樹の周辺を活性化していたとき、Eさんの手からペンデュラムが落ちました。みんなで何回探しても見つからない、探す範囲を広げても見つからない。諦めて移動しようと思ったときに「ぼろっとでてくる」と樹の声がしました。すると、何回も探したはずの樹の根元にペンデュラムが転がっていたのです。本当に不思議な出来事でした。

活性化のために勧められて購入したのは登山靴でしたが、草むらに入っても根っこがでこぼこしていても足首が保護され、足元が安定していました。活性化は機会があれば、またやってみたいです。(T.K)

活性化の楽しみ

日本には、100種類以上の樹木があると言われています。その樹木たちとの出会いを楽しみ、独特の香りや色、たたくまい、また樹ごとに違うパワーを貰うのが楽しみな活性化。ダマヌールの創業者であるファルコから指導を受けた樹とのコンタクトに、名張市内の神社に出掛けた。日本の良いところとして、どんな田舎に行っても、歴史を思い起こさせる神社があること。そして必ず中心になる大きな大切にされている樹木がある。どこの神社の境内でも入るとドーンと歓迎のエネルギーで出迎えてくれる。春日神社に寄った時も、よく来たなーとエネルギーが押し寄せて迎えに来てくれた。早く活性化をして欲しいとせがまれる。当然沢山のエネルギーを受け取るので、体が熱くなり、元気になる。こんなにワクワクすることはない。また活性化をすると樹木が輝きだす。それによりあたりが明るくなる。嬉しい瞬間です。確かスダジイだったと思いますが、独特のエネルギーを差しメッセージをくれた。小生未熟な為に残念ながら意味不明でした。また樹の活性化に出かけたい。(カプリコルノ)

青蓮寺湖周辺 活性化の1日



国津神社 スギ

この秋、活性化予定を立てた時、日本には大型台風が迫っており、予定通り実行できるか不安がありました。

しかし、準備を周到にすれば現実を変える可能性が出てくるのではないかと考え、計画を進めました。9月16日から18日早朝にかけて、台風は九州

に上陸し、その後西日本や北日本を駆け抜け、地域によっては一晩にひと月分の豪雨をもたらし、家屋倒壊や、洪水を起こしました。

活性化を予定した18日の朝は幸いにも晴れて爽やかな青空が見られ、計画が天に聞き届けられたかのようでした。私たちは、湖周辺の樹々を活性化しながら最初の古樹ポイントに向かいました。そのお寺では一面に漂う芳しい香りに迎えられ「何の匂い？」と探していたら、頭上から青い木の実が落ちてきました。見れば地面は強風で落下して二つに割れ、芳醇な香りを溢れさせたカヤの実でいっぱいでした。カヤは現在では一山に一本と言われる程少なくなった絶滅に近い種です。

次の目的地に向かうため元来た道を帰ろうとすると、通行止めになっていました。先程私たちが通過した後に、台風による倒木で停電が起き、電力会社の車両が復旧作業を始めていました。私たちは方向転換して戻ることとなりました。ルートを検索し直すと、なんと先程のカヤの木のお寺の向こう隣が次の目的地でした。辺りには同名の神社が多く、間違っただけで反対方向に動いたところ、タイムリーに軌道修正されたのです。このシンクロニシティに一同感謝しました。

ほかに伝説の柿の古樹も活性化しました。樹齢は1250年といわれ、ミカズチノミコトという神が白い鹿に乗ってこの地を通り、鞭に使った柿の枝を地面に挿すと、枝が芽を出したと伝えられています。この日に活性化した古樹は9本でした。終わりに、古樹へ感謝と共に水をオファーし、植物を代表する彼らとの協同と、人類の意識の変革と進化を祈りました。(ガロ、トンノ、クオン)

ヒーラーからの便り

海に見える閑静な住宅街の一角にダマヌール日本神戸センターがあります。そこで、プラノセラピーとビューティーのプラノセラピーを行なっています。

50才でセドナを旅した時に「あなたは色と音と手で癒しができるでしょう」とある人から言われたことがありました。本当に、その通りになりました。

ヒーリングを始めてからもう12年になります。たくさんの方々との出会いがありました。一番印象深かったのは、膠原病の方へのプラノセラピーとビューティーのプラノセラピーでした。初めて来られた時は歩くのもままならない状態で、毎日が死への準備をされていたようでした。2年近く毎週通われて、時には毎日のように通って来られました。薄皮を剥ぐようですが、体力や生きる意欲や顔の表情や体型までも

変化していったのには我ながら驚きでした。

病気を治すものではないですが、その方の生きるパワーを引き出し、内面の美しさを際立たせることかできるヒーリングだと確信しています。

なによりもヒーラーとして特に大切なのは、施行中に受けるネガティブなエネルギーを、ある一定の回数をやった時にそれをキャンセルできるシステムがあり、常にニュートラルな状態で再度行うことができるということです。なのでどなたにも安心して受けていただけます。

いつまでも若々しくいたい人、自分を変えたい人、夢に向かって進んでいる人、精神的な進化を望む人におすすめの、シンプルでパワフルなヒーリングです。(カズアリオ)

命のエネルギー、プラーナ



ダマヌールのプラノセラピーの特長は何でしょう？

プラノセラピーで使うエネルギー“プラーナ”は、根源的な命のエネルギーです。

地球上で75,000年前からある秘教的知識

を受け継ぐダマヌールでは現代科学ではまだ解明できない事象やエネルギーについての研究検証が進んでおり、宇宙に5,000種類以上あると言われているエネルギーの中でも、プラーナは最もパワフルなエネルギーといえます。

ダマヌールのヒーラーは、その根源的かつ純粋なエネルギーであるプラーナを、効率よく引き寄せ方向づけ、ヒーリングを受ける人にオーラを介して届けます。

エネルギーヒーリングを行うと、必然的にバランスを欠いたエネルギーが生じます。通常、このバランスを欠いたエネルギーは、ヒーラーとヒーリングを行う場所に蓄積していきます。その蓄積が増えるとヒーラーかヒーラーの身近な人が体調を崩したり、あるいはその場所がなんだか重たい感じがするかもしれません。ダマヌールは、そういった蓄積をキャンセルしてニュートラルにする術を持っています。

ヒーラーがプラーナを引き寄せ方向づけてヒーリングを受ける人に効果的に届けること、ヒーラーとヒーリングをする場所を常にニュートラルな状態に保つこと、このどちらも、ダマヌールがセルフ学(現代の科学を超えた、より多くの要素を扱う科学)の知識を持ち実用化しているからこそ可能になっています。

ダマヌールのプラノセラピーは、知識に基づいて理論的に構築されているヒーリングなのです。プラノセラピーを繰り返し受けることにより、体調も心や精神的な状態も変化していきます。

実際、病院で処方されている薬の量を減らすことができた、薬の副作用が減った、調子が良くなり周囲から何か始めたの？と聞かれたという方も多くいらっしゃいます。

元気な心を取り戻したい方、疾病予防をしたい方、人生に前向きに取り組みたい方、あなたの近くにいるダマヌールのヒーラーにお声をかけてくださいね。

●プラノセラピーに関するお問合せ先

ダマヌール日本神戸センター
0798-23-9161
damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル
052-683-8233
jopjal@crux.ocn.ne.jp

* ダマヌールのヒーリング“プラノセラピー”は「神戸センター」「イピアル」の他、以下のところでも受けられます。

飯田市 ガロ

清須市 シベット(山田)

大阪府 コーギー(前田)

語学が苦手な私は、インストラクターと日常会話ができるといいのになぁと常々口惜しく思っていました。何とかイタリア語の基礎くらいは覚えたいと努力するのですが、アルファベットを見ると、目がクラクラ頭が混乱し嫌いだーと思う気持ちが溢れます。結局私とA、B、Cは天敵のようなもので一生相いれない関係のまま終わるのだと諦めていました…このセミナーを受けるまでは。

セミテンポラーレ(時のタネ)では、まず現在の問題の起因となった出来事を自分で見つけ出します。私の場合、アルファベット恐怖症になってしまった原因はほんの些細な出来事でした。

それは中学一年の春、初めての英語のテストで85点を取ったことでした。最後の3問、日本語を英語に下さい。「これはペンです。あれはリンゴです。それは日本です。This is a pen That is an apple It is Japan」完璧な回答をしたつもりが、すべて×。どうして？何が間違っているの？混乱しました。先生は冷たく「答案にピリオドがありませんから」と。

実は皆がピリオドを習った日、たまたま私は学校を休んでいたのです。その存在すら知らなかったのです。今思えば、ちゃんと教科書には書いてあるし少し賢かったら気付いたのでしょうか。あの頃の私に

は青天の霹靂で！驚くやら、恥ずかしいやら、悲しいやら、情けないやら、その時のネガティブな感情が蘇って来ると眉間にしわがよります。でもまさかこんなことが、後々まで続く大きな苦手意識の根源となっていたとは驚きでした。

その後、ダマヌール独自のやり方で問題克服のチャレンジが始まります。時間を越えて過去にセミテンポ(時間のタネ)を植えることで、今に至る出来事がポジティブに変化していくテクノロジーです。セミナー終了後も言われたことだけを信じて毎日毎日続けました。約束の日が過ぎて、何が変わったのか自覚のないまま過ごしていました。そしてある日、嫌々始めたイタリア語のレッスンで、その日はいつもより長時間になっているのも気付かずに熱中。「あら、こんな時間。先生、お疲れですか？」「はい、少し、あなたは？」「私は全然疲れていません、だって楽しいから！」と言っている自分に驚きました。長年の重いブロックが溶け始めて行くのがわかります。

少しばかりの効果を実感した私は、早速この貴重なタネの延長を依頼して、他の問題も改善すべくどんどん植えて行こうと思っています。次はもっと魂にとっての滋養になるような使い方をしなければ、ね。次のアンティロペのセミナーも楽しみ！（ジベット）

アンティロペのセミナー第二弾！「望むことを学ぶ」

～自分の本当の望みに着手し、その望みを実現する方法を学ぶ～

人間に本来備わっている内面的な感覚の一つに「望みの感覚」があります。物質偏重の現代では、精神性と繋がった内面の感覚についての知識が失われ、ほとんどそれらの感覚が使えない状態に陥っています。

誰も望みを持ちますが、教育形成過程での影響によって幼い頃から何かしら制限され始めることで、自分が望むような現実を引き寄せることが必ずしもできません。皮肉なことに、自分が恐れていることや望まないことを引き寄せて、そういった中で生きることには優れています。

それは何故でしょう？ 一体どのようなメカニズムなのか知っていますか？ 自覚していないけれど、とりわけ私たちの望みに肯定的、またはその反対の影響をもたらすのはどのようなことでしょうか？ 正しい方法で望みを持つことを学ぶのは可能でしょうか？ 出来事にシンクロニシティの影響を作用させるということを学ぶことはできるのでしょうか？

このセミナーは、理論と実技を織り交ぜながら体験も含めて進められます。自分の本当の望みに着手し、強い本物の望みになるように、特にその望みを実現する方法を学びます。

このセミナーは、ダマヌールの創業者であるファル

コ・タラッサコ(オベルト・アイラウディ)が自ら発案し、もたらしました。今では、その時の助手たちによりセミナーが行われ、セルフ学の技術を用いて、現実に影響をもたらす個人的な能力を高める活性化によるサポートが得られます。

■開催日：2月24日(土)25日(日)

■場 所：関西セミナーハウス(京都市左京区)

アンティロペ・ヴェルベナ (Antilope Verbena)

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌールのスピリチュアルヒーラー。20年以上に渡り、ダマヌールのスピリチュアルヒーラーの学校の運営指導に関わる。



セルフ学の研究によって実現したセルフティックなキャビンを使ったヒーリングやセルフティックなペンデュラムの専門家であり、健康問題の解決に向けた確かなアドバイスには定評がある。また、時に関する研究者で、タイムトラベルやスペーストラベルの実験を行っていた時期は、自ら信じがたい体験も持つ。

*個人リーディングも可能。詳細はお問合わせください。

現地体験セミナー体験記

ダマヌール日本では、現地イタリアのダマヌールにて、さまざまなプログラムでダマヌールを体験していただけるよう「現地体験セミナー」を開催しています。プログラムには、ダマヌールで毎年継続的に行われている5つの儀式への参加があります。5つの儀式は、1年の節目である「春分」「夏至」「秋分」「冬至」に加え11月には「故人追悼の儀式」が行なわれます。2017年の夏至には、「過去生のリサーチ」も行われました。現地体験セミナーに参加された方からご感想をいただきましたのでご紹介します。



ダマヌールでは、圧倒的な植物達の存在感に驚かされました。いわゆるパワースポットと言われるところを訪れても、ここまで、植物達が生き活きと働きかけてくることはありません。こんなところが、この地球上に存在していることに大感激。やっと呼吸ができるという感覚。マザーの樹とのコンタクトは、この森に人が入っていない時から徐々に森の意識が甦えていくような感覚を伝えてくれました。1年に1回は、ダマヌールに行きたいと思いました。(A.S)

5回目の過去生ワークでは、ネイティブアメリカンの格好をしてみようと、借りたひもで頭をしぼって見たところ、気が引き締まり、集中力が湧いた。まだ、見たことはないけれど大自然が目の前に現れた。帰路の飛行機の中でも、大自然の中でイーグルを育てる少年の映画を見たり、モンゴル上空あたりで夜明け前の神秘的な空の景色を見た。今回のダマヌールでの学びを通して自分が進むべき方向がみえて、さらなる勉強が必要だと思った。(S.K)

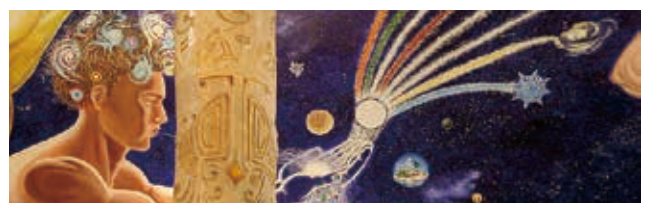
全てが忘れられない、大切な経験となりました。ダマヌールという世界でもまれな場所を、この目で見、体感できたことは、私の中がいきなりに広がり、今現在も変わり続けています。この経験は、言葉が見つからないぐらい衝撃的で、圧巻で、もう笑うしかないほどです。荷物が空港に届かなかった帰路、遊び心で最後の千円札でスクラッチ5枚を買いました。1枚だけ当たっていました。三千元。かわいいシンクロニティーの始まりです。(Y.I)

まず初めて見た神殿は本当に美しかった！人の手でこんなすごい事ができるんだ！今まで感じた事のない空間。生きたエネルギー。圧倒です。森の神殿では、植物達や妖精達の声が聴こえてくるようでした。日本に帰った今、とても穏やかで満たされている自分を感じています。前の自分ではない、何か大きな変化を感じています。とても深く濃い素晴らしい一週間でした。(M.M)

創立者のファルコさんがマジックな力で成し遂げたのではなく、普通の素人の人たちがそれぞれの才能を活かして建築家、芸術家、農家やデザイナーに育っていったのが素晴らしいと思いました。さまざまな仕掛けもあり、遊びの要素もあり細かい芸術性に、どうやって作ったんだろう？という疑問は、「人間の力や可能性は凄いな〜」に変わりました。ファルコさんの意識は今もお全に繋がって、まるで生きているかのようでした。(S.K)

2年振りに訪れたダマヌールは、目にする物や人や体験が前回とは異なったことに気づいたり、同じものを見ていたとしても自分の中では発見や理解が得られ、再び新しいスタートがきれたと思います。とても貴重な機会となり、ダマヌール日本に関わるすべての方々に感謝して日本での日々を臨みたいと思います。(M.S)

地下神殿の中を進んで行くと、皮膚感覚を通して神殿内のエネルギーが感じられました。説明を伺いながら、美しく彩り豊かに描かれ知識溢れたお部屋や廊下を息を飲みながら拝見しました。過去と未来そして、宇宙・いのち(魂)との繋がりを持つ神殿は、温かい気で包まれている様で、私が未だ経験した事の無い未知のエネルギーが溢れていて、様々な働きを持ち生きている事を感じました。魂の意志・目的を確認し、夢にエネルギーをもらいました。(J.M)



来日セミナースケジュール 2017年11月以降

ダマヌール日本では、ダマヌール創立メンバーの一人フェニーチェの来日セミナーを行なっています。2018年には、アンティロペが再び来日します。アンティロペのセミナーもどうぞご期待ください！

2017年11月のセミナー

★【古代文明と人間の起源 “アトランティスと それ以前の文明と人間の歴史”】

in 金沢 2日間セミナー

講師:フェニーチェ・フェルチェ
開催日: 11月18日(土)19日(日)
時間: 両日とも 10:00~18:00
場所: 石川県文教会館 202号室

交 金沢駅より香林坊方面行バス
「南町・尾山神社」下車徒歩2分。

参加費: 40,000円(事前振込39,000円)

★【魂の秘密】 in 名古屋 2日間セミナー

講師:フェニーチェ・フェルチェ
開催日: 11月25日(土)26日(日)
時間: 両日とも 10:00~18:00
場所: ウィンクあいち
25日は1009室 26日は1310室
参加費: 40,000円(事前振込39,000円)

2017年11月のミニ講演会

★【錬金術とマジック】 in 名古屋 ミニ講演会

講師:フェニーチェ・フェルチェ
開催日: 11月16日(木)
時間: 18:30~20:30
場所: ウィンクあいち 1005室

交 「名古屋駅」より徒歩5分

参加費: 3,000円

★【忘れてしまった神様からの贈り物】 in 神戸 ミニ講演会

講師:フェニーチェ・フェルチェ
開催日: 11月23日(祝・木)
時間: 13:30~15:30
場所: 三宮センタープラザ 西館6階8号室

交 「三宮駅」より徒歩5分

参加費: 3,000円

ダマヌール日本は、世界中にあるダマヌールのセンターの一つとして、持続可能な社会を実現するための情報、より良く生きるための精神的な知識やヒーリングを日本にもたすために1999年より活動しています。

活動: 来日セミナー・現地体験セミナー/メールマガジンニュースレター/関連書籍やCDの紹介販売/セルフ紹介ダマヌールのヒーリング/樹の意識の活性化/ダマヌールを知る会・セルフイックペインティングを観る会

HP: www.damanhur.jp
FB: <https://www.facebook.com/damanhur.jp>

2018年のセミナー(予告)

★【望むことを学ぶ】 in 京都 2日間セミナー

講師:アンティロペ・ヴェルベナ
開催日: 2月24日(土)25日(日)
時間: 両日とも 10:00~18:00
場所: 関西セミナーハウス(京都市左京区)
交 叡山電鉄「修学院駅」下車徒歩15分
または 地下鉄烏丸線「北山駅」から
タクシーで10分

参加費: 44,000円 ◎ 宿泊可・料金別途

* 第一次締切2月2日までにお振込の場合 43,000円。
最終締切は、2月16日。

★【アストラルトラベル】 in 京都 2日間セミナー

講師:フェニーチェ・フェルチェ
開催日: 5月12日(土)13日(日)
時間: 両日とも 10:00~18:00
場所: 関西セミナーハウス ◎ 宿泊可・料金別途
参加費: 40,000円(事前振込39,000円)

★【過去生リサーチ】 in 京都 1泊2日のセミナー

講師:フェニーチェ・フェルチェ
開催日: 11月24日(土)10:00開始
11月25日(日)18:00終了
場所: 関西セミナーハウス
参加費: 60,000円(宿泊とセミナー中の食事代別途)
*ダマヌールでの事前調査費を含む

● お問合せ・お申込み先

ダマヌール日本神戸センター
0798-23-9161
damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル
052-683-8233
jpjal@crux.ocn.ne.jp



フェニーチェ・フェルチェ
(Fenice Felce)

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌール創立メンバーの一人。スピリチュアルヒーラー。秘教的物理学・ダウジング・インナーハーモニーゼーション・セルフ学的催眠療法・

アストラルトラベルのスペシャリスト、古代エジプト哲学とミステリーの研究者として国際的に活躍しています。その豊かな研究体験と深い理解と幅広い知識にあふれた講演は常に多くの参加者を魅了してやみません。

* 会場によっては、フェニーチェの個人セッションやグループヒーリングを受けることが可能。詳しくはお問合せください。